

# 多田ヶ嶺

平成29年5月号

発行 小浜第二中学校 電話52-2918

☑ 小浜二中「学校日誌」 毎日更新しています

習慣は人をつくる

校長 西川芳夫

P T A 総会・授業参観・学級や学年懇談会には、大変お忙しい中、大勢の保護者の方々にご出席いただきまして、ありがとうございます。参観していただきましたとおり、どのクラスも学級として少しずつ軌道に乗り始めております。保護者の皆様のご協力のおかげで、1年のよいスタートが切れております。

春季強化大会においては、中学生のすばらしい活躍がいろいろな競技で見ることができました。どの競技でも、中学生のさわやかなプレーや応援、チームワークが光りました。目標を達成した部はさらに目標を高く持ち、残念ながら目標達成がかなわなかった部は課題を明らかにし、夏の大会を目指して努力を続けてほしいと願っています。保護者の皆様には大勢の方々に応援に来ていただきありがとうございました。

生徒たちも4月の頑張りや緊張から疲れが出てくる頃です。連休中や連休後は交通事故にあたり、病気やけがをしたりしやすいときです。ご家庭でも、十分気をつけてくださいますようよろしくお願いいたします。

総会では、スクールプランをもとに、今年度の学校の経営方針を説明いたしました。今年度、教職員が最も力を入れる「授業づくり」「集団づくり」「習慣づくり」の3点について主にお話しました。三つの柱のひとつ、「習慣づくり」について、元大リーガーの松井秀喜選手がいつも大切にされてきた言葉を紹介します。

習慣が変われば、人格が変わる。  
人格が変われば、運命が変わる。  
運命が変われば、人生が変わる。

私たちの生活は習慣の連続です。朝起きて顔を洗い、歯を磨くのは習慣です。考えることなく自然にやっており、生活のリズムのようなものです。

この習慣の中によいものを増やしていくことが、私たち大人もそうですが、子どもたちの幸せにつながるのだと、この言葉は教えてくれます。例えば、「あいさつをする」「人の話を最後まで聴く」「時間を守る」「整理整頓をする」…などは、どれもよい習慣です。確かに、どれかひとつでも続けることができれば、その子の人格は変わってきそうです。そして、将来的にその子の人生も変わってくるのかもしれない。

学校では、難しい特別な習慣ではなく、誰でもできること、いかえれば「当たり前のことが当たり前」にできる習慣づくりを目指して、継続的な指導を行っています。しかしながら、「あいさつをする」「時間を守る」など、簡単そうに見えることでも、毎日きちんと行うことはなかなか徹底しないのが現実です。ただ、一度よい習慣を身につけると、その子にとって、それがなくてはならない当たり前のこととなり、その行動が繰り返されます。それがその子の習慣となり、今後の生き方が前向きなものに変わっていくのだと思います。

ご家庭でも、お子様によりよい習慣が身につくようご支援よろしくお願いいたします。また、私たち大人も子どもと共によき習慣づくりを実践していきたいものです。



## 5月の生活目標

## 身だしなみを整えよう。

みなさん、「身だしなみ」とはどのようなことか、考えたことがありますか？「身だしなみを整える」というのは、単に服装の乱れを直したり、髪の毛を整えたりするだけではなく、その場に応じて服装を整え、周囲の人に良い印象を与えるということです。また、自分自身を綺麗に見せると言う意味だけではなく、相手に対して失礼にならないように気を配るという意味もあると思います。これは社会人としても重要ですが、一人間として相手と接する場合には非常に大事で、身だしなみを整えられていない人は、相手に対して気を配ることができていない、ということが言えます。

みなさんは思春期の真っ最中ですから、髪型や服装等「おしゃれをしたい」と思っている時期だと思います。でも、自分の好きなおしゃれは、ルールのないプライベートな時にするのがいいと思います。学校や会社のようにルールのある場所では、身だしなみに気をつけることは周囲の人たちに対する礼儀だと思います。

ただし・・・

### 身だしなみを整えるのは見た目だけではない

身だしなみを整えるというのは見た目だけを取りつくりようではありません。みなさんの内面も整えてこそ本当の意味での身だしなみを整える、ということになると思います。では、内面的な身だしなみとはどのようなことでしょうか？

内面的な身だしなみというのは言葉づかいや立ち振る舞い、相手に対する気遣いや心配りと言った言動のことです。これが伴って初めて身だしなみを整えられたという状態といえるでしょう。

冬服と夏服の切り替え時期でもある5月に、今一度、自分の身だしなみを見つめ直し、身だしなみの大切さについて考えてほしいと思います。

- ・毎月、お忙しい場合は、サインや一言でも結構です。
- ・保護者の声については次号で紹介させて頂くことがあります。ご了承ください。

二中学校だより

多田ヶ嶺5月号 保護者の声 \_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_組 氏名

### 【衣替えのお知らせ】

**5月22日（月）～6月2日（金）を衣替え移行期間**とします。

この期間は気候や体調に合わせて、夏用と冬用のどちらの制服を着用してもかまいません。

ただし、**6月5日（月）からは、必ず夏服**でスタートしましょう。名札等の準備をよろしくお願ひします。

### 【GW中の生活についてのお願い】

5月3日から8日まで6連休になります。部活動等もありますが、疲れを取って5月のスタートをしっかりと切れるようにしてほしいです。そのためにも、以下の点に気をつけて、ご家庭でもご指導をよろしくお願ひいたします。

- ① 交通安全に十分気をつける。（自分の体・命を守る）
- ② 友達の家への外泊はしない。（生活リズムの乱れにつながる）
- ③ 生活リズムを整える（早寝・早起き、スマホ等の使用などについて）
- ④ 違法行為をしない。（喫煙、飲酒等）
- ⑤ お金の貸し借りやおごりあいはしない。（トラブルにつながる）
- ⑥ 生徒どうしでのカラオケボックス、飲食店などへの出入りはしない。  
（補導の対象、金銭トラブル等につながりやすい。）

### 【講演会のお知らせ】

すでにチラシを配布しておりますが、5月14日（日）に『学ぼう！いじめの方程式～子どもの命を守るために大人が知ってほしいこと～』と題した講演会が、県立大学小浜キャンパスで行われます。全国の公立学校でも講演が行われており、いじめ問題のみならず、子育てに関する悩みなどから解放されたという声が届いているそうです。お忙しい時期だとは思いますが、関心のある方、悩みを持っておられる方など、多くの方に聞いていただけるとありがたいです。

小浜二中

検索

学校日誌

毎日更新中！

二中学校だより

多田ヶ嶺5月号 **生徒の声** \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 組 氏名

# 部活動コーナー

部活動担当 古田哲也

## 【いい姿】

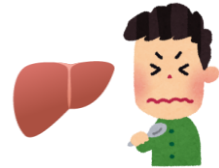
春季強化大会では、団体競技5つが優勝、6つが2位、個人戦でも多数入賞するなど、多くの部活が健闘しました。また、結果には見えない部分でも、愛される中学生として輝く姿を目標にすることができました。

その一つが応援です。バレーボール競技では、男子の試合のときに女子が観覧席の最前列でピシッとそろって応援をする姿がありました。男子や女子という枠を越えて中学生が一つとなって応援する姿は大変素晴らしいものでした。本来は自分たちの試合で精一杯な中でも、そうやって他を気遣える視野の広さや思いやりの心は一人の選手として大事にすべきことです。夏もそんな姿が多くの会場で見られることを期待します。

## 【臥薪嘗胆】

この四字熟語、読み方や意味を知っていますか？臥薪嘗胆(がしんしょうたん)と読みます。昔、戦いで敗れた将軍が、毎日たきぎの上で寝たり(臥薪)、きもをなめたり(嘗胆)し、痛みや苦みを感じることで敗れた悔しさや辛さを思い出し、勝つための準備を進めていったことに由来する言葉です。

さて、春の大会が終わり、いよいよ夏に向けて最後の数ヶ月となりました。一年生は実感がないかもしれませんが、これまで地区大会や県大会、あるいは北信越大会などを経験するなかで、誰もが一度は負けた経験があるはずで



最後の1点を取られたときの気持ち、  
最後の1アウトを取られたときの気持ち、  
試合終了のブザーやホイッスルが鳴ったときの気持ち、  
相手に1本取られたときの気持ち、  
満足のいく記録が出せなかったときの気持ち、  
納得のいく演奏ができずに終わったときの気持ち、  
...

負けることは何より悔しいことです。でも、大会前に急に上手くなることはありません。大会一週間前は誰でも必死に頑張る練習するもの。大会一週間前の練習で他校と差をつけることはできません。では、どこで差をつけることができるのか？それが「今」です。この大会から何ヶ月も遠い時期から高い意識をもって練習に取り組むことができるチームこそ、他校と差をつけられる、差を縮められるチームです。



5月

6月

7月

8月

**この時期にどれだけ高い意識をもって練習に打ち込むことができるか**

**誰もが必死になる時期  
ここで差はつかない**



でも、なかなか高い意識を持ち続けることって難しいですね。だからこそ、臥薪嘗胆。負けた悔しさを思い出し、常に自分たちが目指しているものに向けて、ぶれずに部活動に打ち込んでいきたいものです。